

自然教育園見ごろ情報

2026年1月22日号

附属自然教育園

検索

詳しくはHPの「見ごろ情報」
をご覧ください
<https://ins.kahaku.go.jp/>



今週はここに注目！

イイギリの実に鳥が
集まっています。



イイギリの実



寒い朝だけの
お楽しみ♡

シモバシラ(氷の花)

寒い日の朝、シモバシラの根元で「氷の花」を見ることができるかもしれません。これは茎の割れ目にできる氷柱で、「氷点下」「雨・雪がふらない」「風が弱い」などの条件が合う場合にだけ発生します。

水生植物園で
みられます



ヒメガマ(実)

ソーセージのような穂が崩れ、綿毛のついたたくさんの果実が姿を見せています。強い風が吹くと、綿毛と果実が飛びだします。



雌花

雄花

ハンノキ

枝先に垂れ下がり黄色い花粉が見える「雄花」、枝の途中にある赤いマッチ棒のようなものが「雌花」です。前年の実も、まだ残っています。



フキノトウ(フキのつぼみ)

春の訪れを告げる「ふきのとう」が顔を出しました！フキの「花がつく茎（花茎）」にあたり、山菜としてもおなじみです。



★園内での
動植物の採
集は禁止
です。大切
に見守っ
てください。



トラノオスズカケ(紅葉)

本来は、四国や九州などに生育する植物です。自然教育園の本種は、江戸時代に、平賀源内が松平讃岐守の故郷から持ってきたといわれています。夏に咲く花もみどころですが、葉が赤く紅葉した姿も冬限定の美しさです。

花（8～9月）



路傍植物園で
みられます



センリョウ

古くから日本庭園に栽培され、花びらのない小さな花を多数つけます。赤くなった果実は、「千両」とも呼ばれ、正月の「縁起物」として飾られます。

全域で
みられます



イイギリ(実)

見上げると、赤色に色づいた実が見えます。園内全域に生えていて、ヒヨドリがよく実をついばんでいます。



渡り鳥のツグミも、
イイギリの実をつ
いばんでいます。



園路に
落ちています

↓ 種子

↑ 果皮

ムクロジ(実)

実の中に入っている黒い種子は、羽根突きの羽の球や数珠に利用されます。また、果皮は界面活性作用がある「サポニン」を大量に含み、昔は石鹸の代用とされました。